R7実施報告書（最終年次）

上勝町立上勝中学校〔協力校　上勝小学校〕

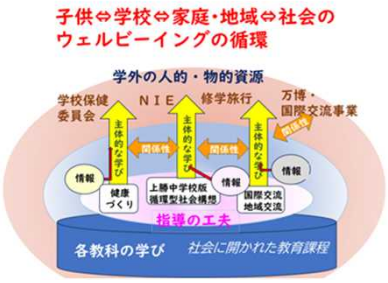
1. 実践研究テーマ

各教科等の学びを基礎・基本として、様々な情報を活用しながら、
主体的に課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結びつけていく生徒の育成

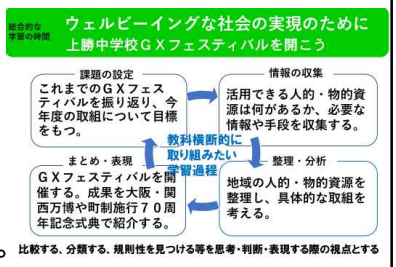
2. 取組の内容（協力校等との連携等を含む）

○昨年度の成果と課題より
課題　○授業づくりの工夫による思考力・判断力・表現力等の育成を継続し、現代的な諸課題の解決につながるような課題設定を工夫する。
○学習者の学習改善を促すような指導を工夫する。

本校は「上勝中学校版循環型社会構想」を展開し、今あるものや捨ててしまうものを再利用したり、サービス等の付加価値を与えたりして活用することで、人やものの好循環を生み出そうとしてきた。３年次の今年度は、それが生徒や社会のウェルビーイングにつながるようにしたいと考えた。



○場を重ねることで支援から主体性につなげていく
・上勝中学校版循環型社会構想（３年次）
ＧＸフェスティバルにおけるワークショップの企画、外部講師との連絡調整、チラシ作り、取材依頼等、生徒が一人一役を担って活動した。
・国際交流・地域交流
上勝町が内閣官房事業の一貫として行った、ナイジェリアとの国際交流の様子を、大阪・関西万博の最終日「TOKUSHIMA FUTURE EXPO 2025」で発表した。
さらに、その成果を、町制施行７０周年記念式典においても報告し、上勝町のことを知って関わってくれる関係人口の増加を目指した。

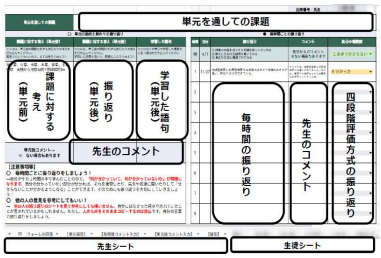


○ウェルビーイングのための健康づくり
上勝町と連携した健康検査の結果、生徒の７割に隠れ貧血や生活習慣病等の所見があった。そこで、保護者への啓発や、上勝町学校保健委員会、保健師・理学療法士による出前授業、徳島県学校食育推進パワーアップ作戦等を活用した取組を進めた。その結果、全国健康づくり推進学校表彰事業で優秀校に選ばれた。

3. 取組の成果

○ 教職員の変容

課題設定を工夫し単元的に展開することで、学習者が主体的に取り組み、試行錯誤する必然性のある授業が展開された。学習者の学習改善を促す指導としてＩＣＴを活用した振り返りの工夫と生成ＡＩを活かした思考の明確化・深化が行われ、生徒が主体的に学力を身に付けることに寄与した。



ポートフォリオ型デジタル振り返りシート

○児童生徒の変容

様々な場を重ねることで生徒は経験知を得ていった。大阪・関西万博や町制施行７０周年記念式典等、取組を広く知ってもらう機会を多くもてたことで、思考力、判断力、表現力を育成することに一定の成果があった。
３年次を迎えた上勝中学校版循環型社会構想は、ＧＸフェスティバルの企画・運営を生徒に任せ、教職員が補佐しながら進められる場面が多くなった。
県域Googleアカウントを活用して、振り返りに生成ＡＩを活用することで、生徒が誤認識に気付き、自ら学習改善をすることができるようになった

4. 2年間の実践を振り返って

中国・四国地方でもっとも人口の少ない上勝町の小・中学校として、関係人口を増やし、現代的な諸課題の解決や社会的な価値の創造につながる取組を展開することができた。今後も、他校の生徒や外部講師、地域人材との交流を取り入れ、学校教育を通じてよりよい社会を創る「社会に開かれた教育課程」を実現していきたい。